

令和4年度 第1回徳島県自転車活用検討委員会
大鳴門橋自転車道に関する「管理運営」「魅力向上」について

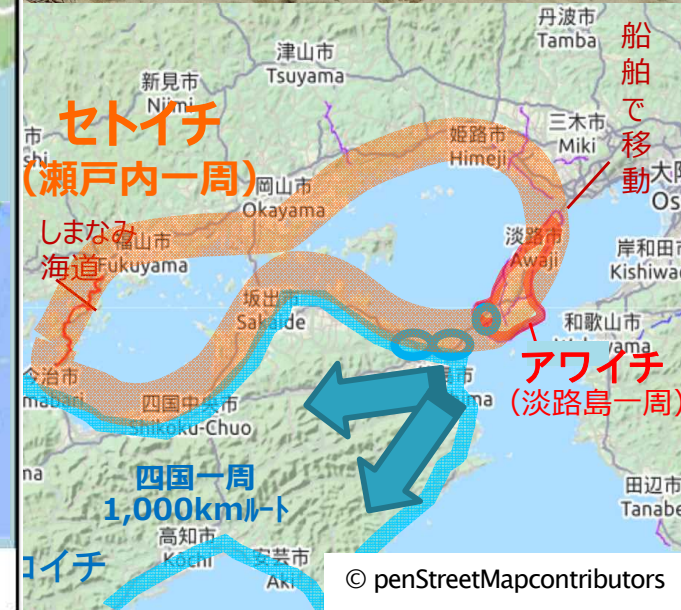
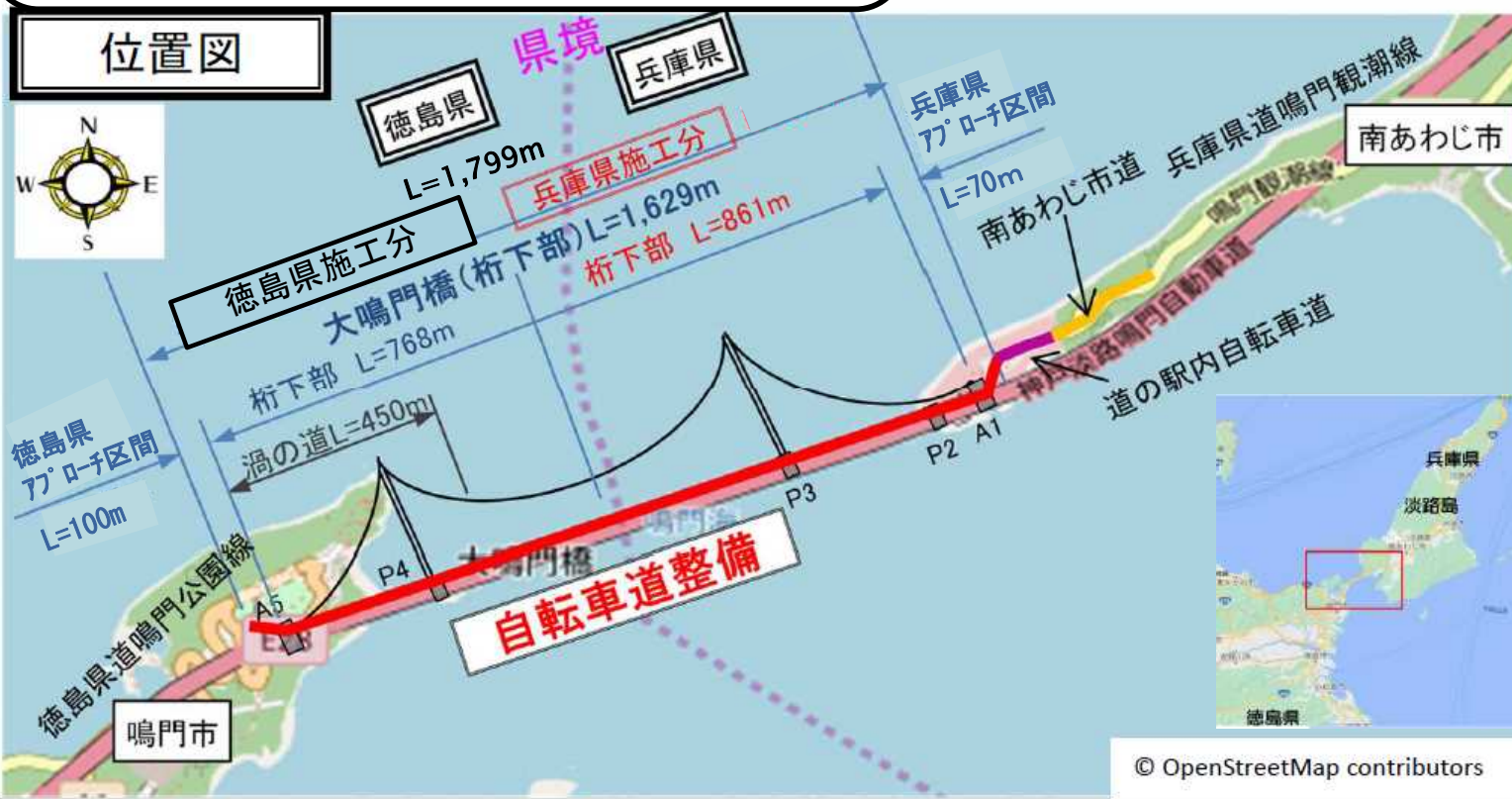
資料2



【自転車道設置の目的】

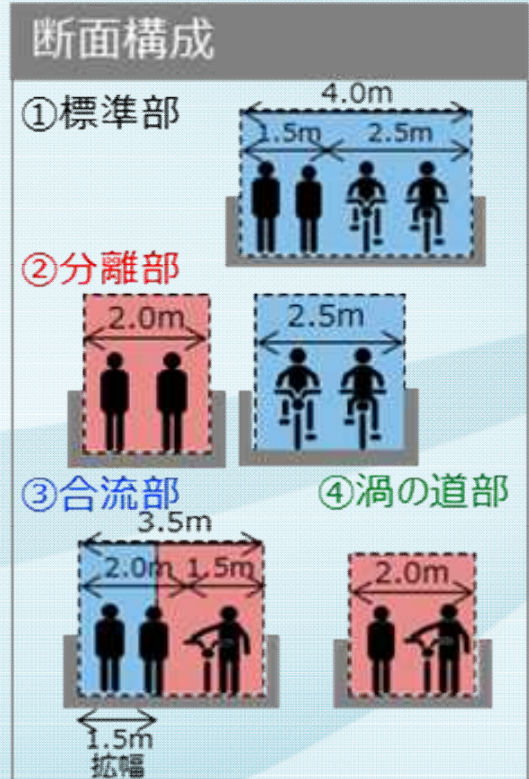
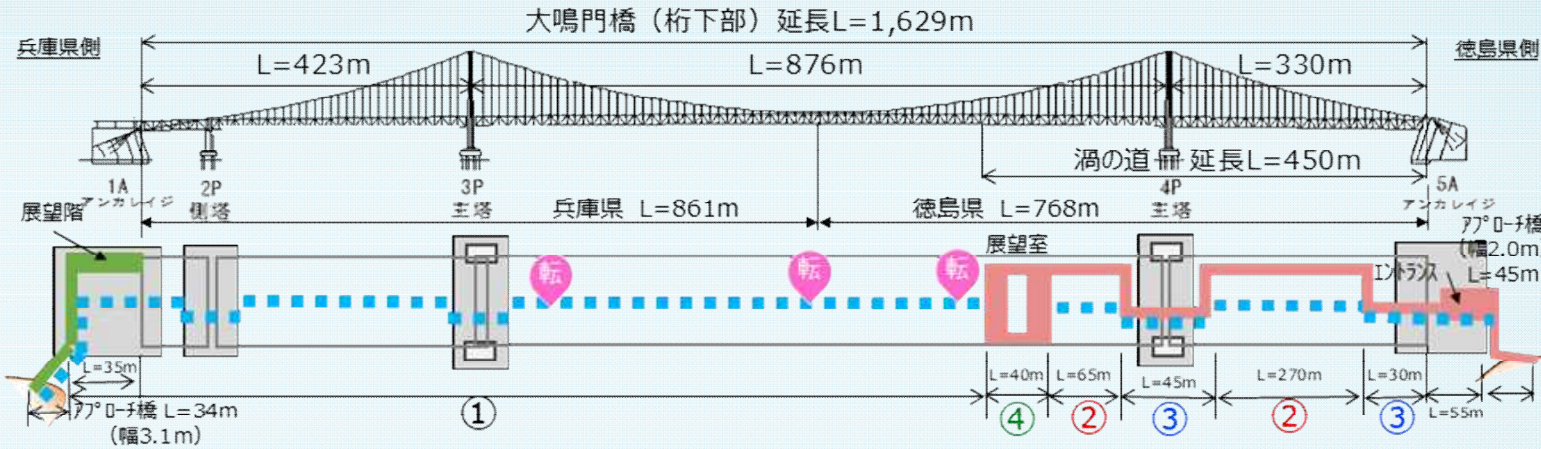
サイクリングに対する需要が高まっている中、兵庫県と連携し、大鳴門橋の「桁下の新幹線空間（四国新幹線整備までの期間）」を活用した自転車道を設置し、

- ・交流人口の拡大（鳴門海峡の往来）
- ・観光振興の推進（サイクルツーリズムの推進）
- ・ポストコロナ新時代の生活様式変容に対応するための「自転車人口拡大」に繋げる。

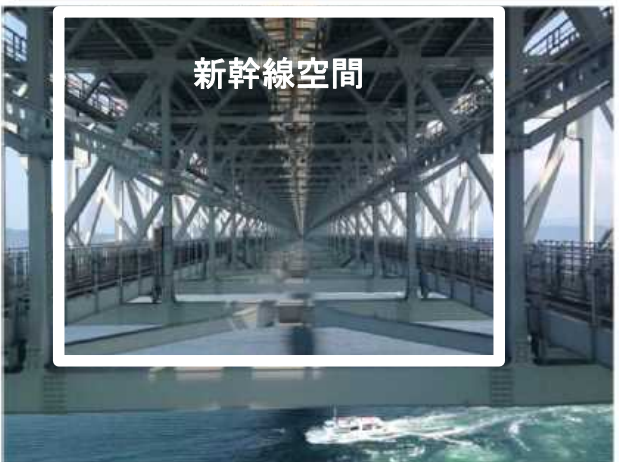


(1-2) 事業概要

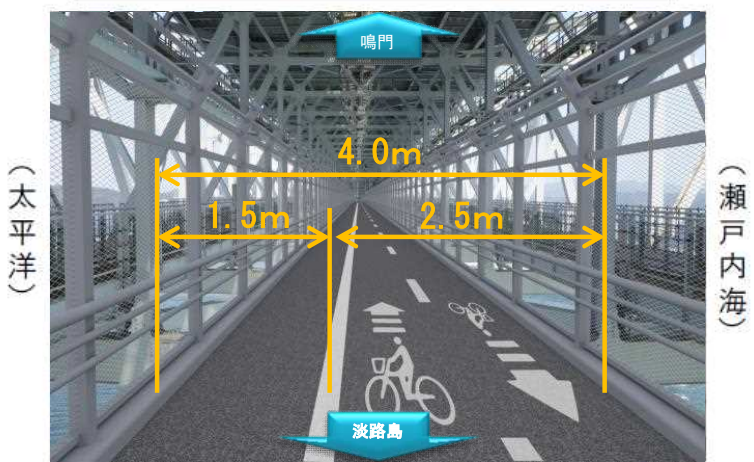
- ① 総事業費：約28億円<全体約58億円>
- ② 予定期間：工事着手後4～5年
- ③ 延長：868m（桁下768m+アプローチ100m）<全体1,799m（70m+1,629m+100m）>



【大鳴門橋桁下空間】



【自転車道整備イメージ】



- 四国新幹線整備までの期間を有効利用
- 自転車道の機能を持つ「観光施設」として整備（利用は自転車・歩行者）
（自転車道の断面は、「しまなみ海道 因島大橋の自転車道」を参考）
- 「渦の道」との共存が前提

参考 因島大橋



(2) これまでの検討状況

① 自転車道付加による耐風安定→O.K

<風洞試験の結果>

「因島大橋の自転車道」を参考にしたモデルで実施

照査風速: 87.6m/s(設計風速73m/s×1.2)

設計風速: 150年確率 安全率: 1.2

風向: 橋軸直角方向(瀬戸内海側→太平洋側)

【より厳しい風向条件】



耐風安定性の確保可能

※今後、これまでの検討結果を考慮した構造で、確認のための風洞試験を実施予定



② 法的規制→O.K【見込み】

<道路法>

・道路区域(大鳴門橋)の占用

<自然公園法>

・瀬戸内海国立公園内の工事

<文化財保護法>

・名勝「鳴門」との調和

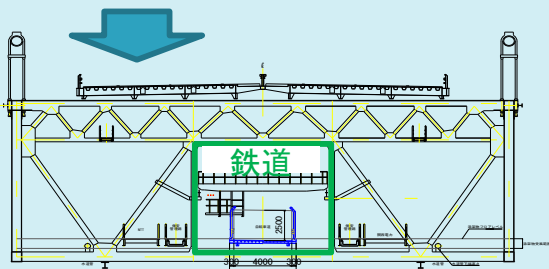
<建築基準法>

・「渦の道」を含めた建築確認

③ 空間配置→O.K

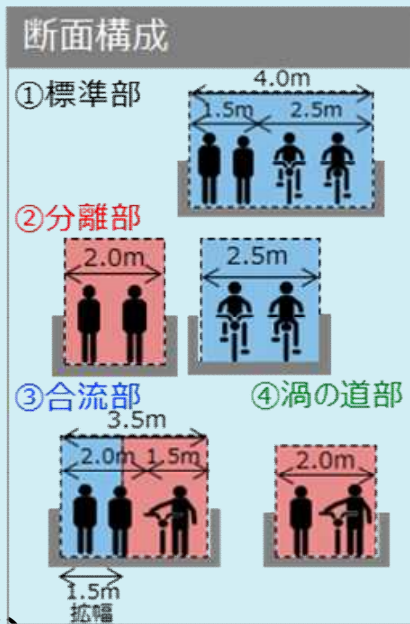
・既存設備への影響

・「渦の道」への影響



【標準部】 自転車道は中央配置

※「渦の道」と兼用する一部区間(エントランス・展望室・主塔部)は、安全、眺望等を考慮し、自転車は、歩行(押し歩き)を想定



④ 需要予測→多くの利用見込み

約55万人(渦の道) ※R元: 新型コロナの影響前



自転車道設置後

<想定利用者数>

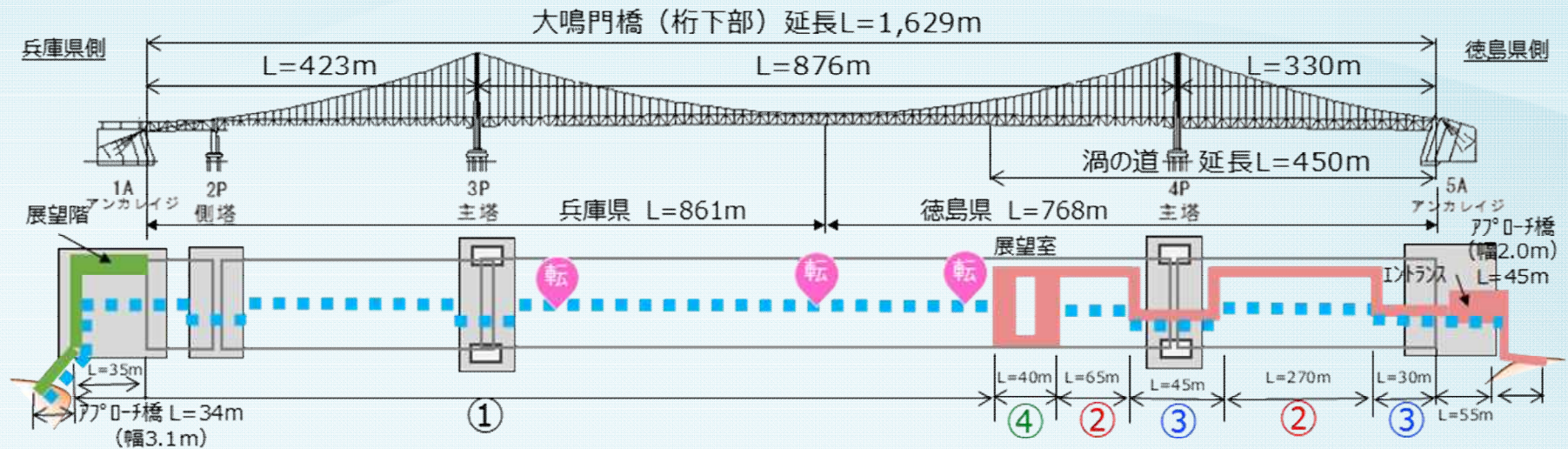
約65万人~75万人(渦の道含む)

内、サイクリスト約9万人(マイ自転車)

※安全で快適な通行や円滑な施設運営等に支障のない適切な利用者数となるよう兵庫県と「料金設定」等を検討・調整
※自転車道の維持費等は料金収入で確保見込み

(3) 「管理・運営」

○通行の安全管理や円滑な運営等の方向性について



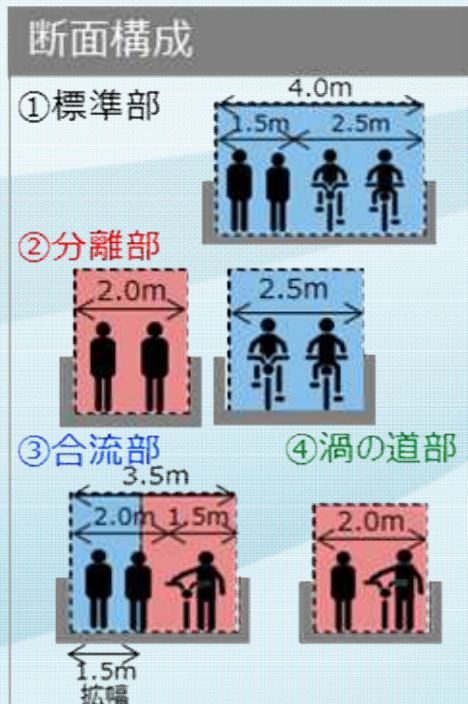
渦の道利用者を含めた安全通行等

○基本方針(案)

- ・「渦の道」の一部区間は、
自転車を降車し、「押し歩き」
- ・閉館(夜間、平均風速15m以上)

<検討事項>

- ・繁忙期の運営
- ・利用対象者(年齢、身長など)
- ・利用車両(e-bike、タンデムなど)



(4) 魅力向上

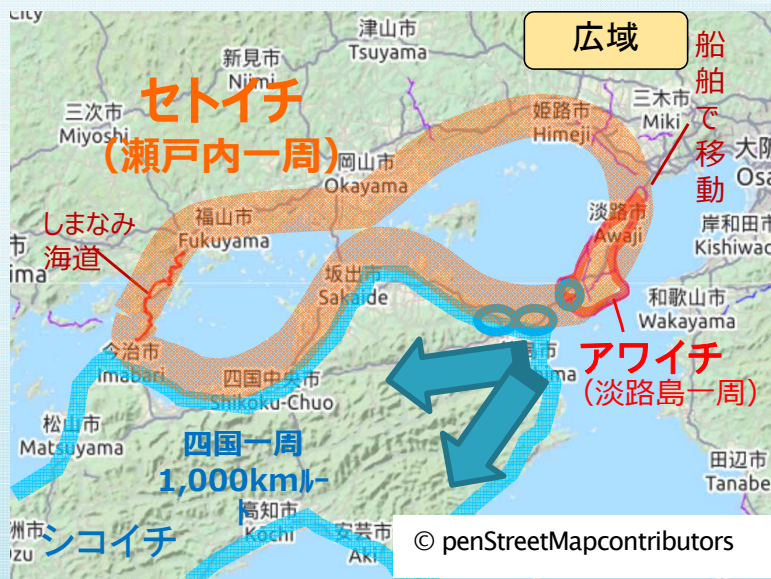
○自転車道を活かした「魅力向上」の方向性について

① 広域サイクルルートの拠点化

<広域サイクルルートの拠点>

大鳴門橋への自転車道設置が実現すれば、

- ・「しまなみ海道」を走行する、瀬戸内海一周ルート「セトイチ」
- ・ナショナルサイクルルートの指定に向けた取り組みが進む淡路島一周ルート「アワイチ」
- ・四国4県が連携して進めている四国一周ルート「シコイチ」の3つの広域ルートの唯一の接点となる鳴門から本県のようなサイクリングルートへの接続が可能。
- ・鳴門周辺のルートを重点的に整備。



個別ルート

鳴門海峡渦潮コース

鳴門海峡をさまざまな景色を見ながら巡ります。鳴門の代表的な観光スポットの鳴門公園千畳敷や大鳴門橋「渦の道」に立ち寄り、渦潮を眺めよう。



総距離	30.7km
高低差	96m
駐車台数	P318台
所要時間	122分

スタート&ゴール

「鳴門ウチノ海総合公園」が拠点。ゴールの後は、ウチノ海をのぞむ芝生広場でんびりと休憩できます。

P+ アクセス

- 鳴門駅から自転車約25分
- 徳島駅から車で約27分
- 徳島阿波おどり空港から車で約18分

危険力所

思崎の小道は非常に狭くガードレールがありません。車も通りますので道を譲りましょう。スカイラインや鳴門公園の下の坂では、車が多いのでスピードを必ず落としましょう。

難所

空満港からの上り坂は短ですが急勾配となっています。その後もアップダウンが続き、鳴門公園の上りも急な勾配です。

コラム&ワンポイントアドバイス

スカイラインを途中でそれ島田島島内を寄り道、大鳴門橋を真横から見る事ができる思崎の小道からの眺めは絶景です。鳴門公園の後進の長い海洋総は砂浜が美しく、ウチノ海沿いの小道は静かな風景です。様々な海の姿を堪能しましょう。



③受入環境の充実(民間等との連携)



サイクルキャビン(大型観光バス)



サイクリングツアー・ガイド養成



JR駅のサイクルピット
輸行袋の貸し出し



サイクルステーション(SO RA PA)
※徳島阿波おどり空港近隣



鳴門海峡自転車輸送サービス

四国一周サイクリングおもてなしサポーター(民間)

徳島県のおもてなしサポーター

宿泊施設	飲食店	サイクルショップ	その他

徳島大学
サイクルツーリズム講座
(県内外・産官学)

(一社) 鳴門板野青年会議所

- ・ドリンクサービス
- ・工具貸し出し
- ・施設利用料割引